

○大会競技方法(対局規定)

1. 1・2年生、3・4年生、5・6年生、中学生の部に分かれて行います。
2. 機の番号札と手合いカードの番号を、確認してください。
3. 予選は、全員3局行い、2勝通過・2敗敗退となります。その後、予選通過者による決勝トーナメントを行います。
4. 決勝トーナメントの組合せは、本部で抽選を行いますので各クラス手合係の指示に従ってください。

ルール

1. 総平手戦です。先手後手は振り駒で決めてください。
2. 小学生の部は 10 分を目途に対局時計を使用します。双方1手 30 秒の秒読みとなります。中学生の部は初手から対局時計を使用します(初手から双方1手 30 秒の秒読み)。決勝トーナメントからは、全クラスのすべての対局で対局時計を使用します。なお、大会の進行状況に応じ、準決勝以降は持ち時間を設ける場合があります。
3. 千日手は、すぐに先後を入れ替えて指し直しとします。(持ち時間がある場合は残り時間で行います)。
4. 持将棋は「27 点」方式を採用しますが、手合係が局面を判断して勝敗を決定する場合があります。なお、持将棋が成立して同点の場合は「後手の勝ち」とします。
5. 反則(二歩など)は即負けとなります。ただし、投了により勝負がついたあとでの指摘は無効です。勝敗は変わりません。
6. 上記の項目以外は、日本将棋連盟の基本ルールに準じて行います。その他、問題が生じた時はすぐに手をあげて各クラスの手合係に確認してください。今大会は審判の判断を最優先とします。
7. 対局が終わったら、手合係まで 2 人一緒にカードを持ってきて結果を手合係に伝えてください。その後は、対局を行った席に座って次の対局を待ちましょう。

お願い

- ◎ 始めるときの「お願いします」と終わるときの「ありがとうございました」のあいさつは忘れないでしましょう。
- ◎ 指す時には駒を持ったまま考えずに、手離れ良く指しましょう。
- ◎ 対局が終わったら、駒は初形に戻しましょう。
- ◎ 対局中の「助言」「おしゃべり」はやめましょう。反則となる場合があります。